

うだのみくまり

通巻第52号

《新春輯》

〈発行者〉

宇太水分神社
神徳宣揚奉讃講

頌春

令和六年 元旦

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
本年も全国水道事業の発展とこの事業に携わる
みなさまが健やかにご活躍されますことを祈念い
たしております。

宇太水分神社

宮司 三家 一彦
氏子 総代 一同

元に復せた例大祭

令和元年五月五日、国宝本殿創建七百年を
記念して盛大に斎行した大祭以来、早五度目
の新春を迎えました。本年三月には、その三
棟の本殿が昭和二十九年に国宝指定を受けて
より七十年であります。室町時代の大洪水で
流失した一ノ大鳥居を昭和五十九年、鋼鉄で
再建して四十年でもあります。
当社と致しましては、大きな節目の年であ
る…と受け止めてよからうと存じるところ
であります。

ところで、それに先だって昨年は、その事
の恰も前祝いの如く、例大祭をコロナ禍前の
次第に復することが叶いました。感染症の衰
勢基調にあった一昨年に、神輿渡御が見送ら
れた事に、前号の本稿で私はコロナは表向き
の理由で、経費的な事だったり人員確保の問
題が内在している…と、吐露しました。

方向性を確定すべき初夏の頃、物社と当社
は先祖から継承してまいった伝統の祭礼を、
ここで絶やすべからず…という一致点に達し
ました。渡御行列の要態が完璧でなくとも、
復すのに妥当な環境を協議したところ、当社
側が人員面での協力を増強する事で、概ね

帰結しました。

さて十月十五日の祭日は、前日の郷社例祭
日程後半より降りだした雨が宮本太鼓台出発
お祓い直前まで残っておりましたが、次第に
回復し概ね晴天に恵まれました。コロナ禍に
より控えておりました来賓参列は、一昨年よ
り再開致しておりましたが、昨年も大勢の方
のご臨席を賜り、厳粛に斎行申し上げる事が
できました。

一昨年は感染対策として太鼓台運行は、車
輪を装着して少人数での実施に止めておりま
したが、六基揃って勇壮に担がれての宮入り
の中、姫神様は芳野太鼓台に導かれての当社
著御と相成りました。

結果的に、渡御行列への当社側人員協力は
二倍近くになり、所作を伴う所役も加わりま
した。ご理解くださった方々に感謝致します
と共に、それにより伝統が繋がった事を誠に
有難く存じます。

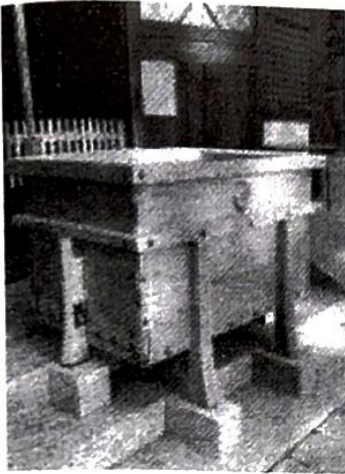
とは申しまして今後益々、氏子地域を取り
巻く環境は厳しくなる事は、想像に難くあ
りません。節目に際して、昨年の例大祭に賑
わいが戻った事に鑑みて、祭儀の重要性の認
識を、改めて思慮致してまいりたく存じると
ころであります。

七十余年ぶりに

賽銭箱を新調

昭和三十四年に襲われた伊勢湾台風の後、芳野川の護岸が嵩上げされて、その上を通る国道166号線を折れて少し下ると、一ノ大鳥居がある。それを過ぎて前方を見ると、鎮守の杜に屏風の如く高々と繁る樹木を背景に、同四十八年竣工の拝殿の開けられた前後扉越しに中門に附けられた菊の御紋が目を見く。視線を少しく下げると、拝殿前に置かれた賽銭箱に意識が移る。進んで二ノ鳥居を潜り、手水舎で手口を清めて、近づくとつれて以前のそれは、風雨に晒され酷く朽ちていた印象が鮮明であつたのではないだろうか。

昭和十二年に生まれた宮司に、何時頃に造られたものかと訊くと、小学校高学年の頃、という。それから計算すると、七十年以上が経過している事になる。



若干この間の社会の事を想い顧みたい。まず戦後の復興とその後の高度経済成長は、東海道新幹線の開業や前回の東京オリンピック、また、これも前回の大阪万国博覧会といった事柄を齎した。国民は次第に展望が開けて、躍動感が漲っていた時代であつたろう。

それから私が生まれた五十年ほど前から小学校の頃は、引き続いて宮前から続く街道は商店街としての賑わいがあつた。しかし後継者の不在や経済構造の変化に因り、宇陀にもスーパーが展開し、二十年ほど前、道筋の商店は殆ど看板を降ろしていった。地域全体も人口減少に歯止めがからず、少子高齢化が著しい。加えて、今や本籍を地元においていても、普段は利便性を優先して都市近郊で暮らす氏子の方もおられる。

昭和から平成そして令和と、二度に亘る改元は、我々に目まぐるしい社会構造の激変を経験させている。大神様は七十余年、その賽銭箱に投じられた浄財に参詣者の様々な想いを、聞食してくださつてこられた事と畏くも拝察する。

初めに触れた伊勢湾台風では地域が浸水し、その後の昭和四十七年の台風では旧拝殿が倒壊したが、二度襲来した自然災害にも耐え、参詣者の前に在り続けてくれていた。

予てより私共は、腐食に因つてその部材が歪んでしまつていくような状況を憂慮し、新調できないものかと、思ひめぐらせていた。その思いは総代方も共有されていて、年始の役員会等で話題に上り、俄かに造り替える方向で纏まつた。

その調整に当たつては、氏子総代森本定雄様が社長をされている森庄銘木産業株式会社に、樺の良材を確保されているとの事で、快くご提供頂いた。また製作に際しては、松井天神社の郷総代横谷俊彦様が加工をされている関係で、主にご子息様が携わつてくださり、優れた匠の技により、見事な賽銭箱と相成つた。尚、寸法が従来に較べ一回り大きくなった都合で、設置に当たつては、地元の中口石材店の協力を得て、礎石を据える必要があつた。

二月に完成となつたので、二十六日の祈年祭の折、辞別祝詞を奏上し大神様に経緯等を奉告申し上げた。

「つくる」という文字にはいくつかの漢字が当てられている。「作る」、「造る」、そして「創る」である。「造る」に心が籠つた意味合いとなるとして「造」の世界は頭だけではなく、全身でそこに与ることが求められる。(後略(令和五年十一月十一日付日本経済新聞「言葉のちから」批評家若松英輔「というコラムの中に、こんな一節があつた。

正しく昨春新調した賽銭箱は、恰も建造物の如くに国宝本殿に相応しい重厚な佇まいで、拝殿前基壇に座している。大神様と参詣者の仲を執り持つ存在として、役員方が心を込めて造られた賽銭箱に浄財が捧げられ、永く祈念が為されていく事を、念じたい。

研修旅行も復活

本号の日誌抄は久々に賑やかなものとなった。これも感染衰勢に伴う事で

ある。講員の皆様が参拝されたのも理由の一つだが、斯界の研修旅行等の復活に因るところが大きい。中でも、六月二十三日に催行された奈良県神社庁総代会研修は、本部役員七名が参加され、私も同行した。行先は京都方面で、賀茂別雷神社(上賀茂神社)に正式参拝し、仁和寺を拝観した。

そこでは将棋の藤井聡太八冠が対局された部屋も見学した次第である。

参加くださった皆様は、一般参拝では入れない神前近くで拝礼し、説明を受けられた事や茶菓の振舞いに感銘をされておられた。

また、いずれも私一人での参加ではあるが、六月の全国清々会では滋賀・油日神社に正式参拝が叶つた。平成三十年に当社に大勢の方々が参拝されたお宮で、是非とも伺いたく思つており、とても楽しみにしておりましたら、神職様は私を覚えておられ、忝い思いを致した次第である。更に九月の全国春日連合会では、開催地の岐阜の加盟社関春日神社に、総会開会に先立つて正式参拝致した。その後、参道脇にある岐阜関刃物会館に於いて、日本刀の鍛



鏡の実演を見学させていただいた。本来は実施日でないにも拘わらず、連合会の為特別にしてください、職人と炎の真剣勝負に圧倒される思いで、その技に感銘した。また十一月の神社庁研修旅行では、淡路島の伊弉諾神宮に詣で、禰宜様から様々大変興味深いお話を伺った。その中でも真東に向かうと伊勢の神宮があり、そのライン上の中ほどには、飛鳥の宮が位置している...という話は、予てより識っていたが、

改めて感心する事となった。旅は平素の生活では得られない、視点や感情を磨いて、日常的に接している人と旅路を共にしても、会話の中で意外な一面を垣間見られたりする。本年最初の機会として、今月二十六日には神社庁主催神宮団体参拝を、五年ぶりに予定している。参加者を募集しているところだが、可能な限り大勢で親睦を深める伊勢路にしたいと思う。

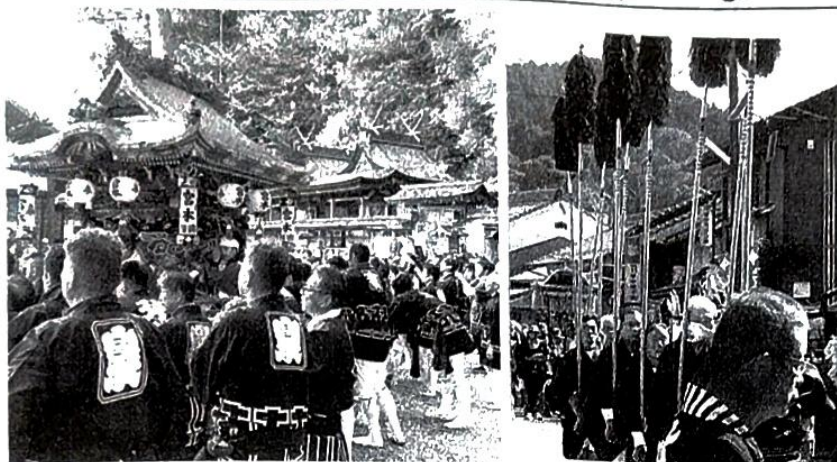


自 令和四年十二月一日
至 令和五年十一月三十日
〇令和四年
十二月 一日 月次祭
十四日 津市上下水道参拝
祈禱(五名)
二十五日 迎春準備(門松立・
夫婦杉注連縄掛け
等)
三十一日 師走の大祓式
〇令和五年
一月 一日 歳旦祭

二月 二十九日 新年総会
一日 月次祭
七日 末社恵比須神社例
祭(初えびす)
三月 二十六日 祈年祭
一日 月次祭
十六日 山口県企業局他参
拝祈禱(四名)
四月 一日 月次祭
八日 春の大三輪祭に禰
宜参列(桜井市・
大神神社)
十日 末社金刀比羅神社

五月 二十日 春季例祭
伊賀市上下水道協
同組合参拝祈禱
(九名)
二十一日 奉賛講 講員安全
祈願祭
二十五日 北葛城地区水道事
業部課長連絡協議
会参拝祈禱(来社
三名)
一日 月次祭
十六日 津市上下水道協同
組合参拝祈禱(五
名)
十七日 松阪市指定上下水
道事業協同組合参
拝祈禱(三名)
二十日 伊勢市上下水道部
参拝祈禱(八名)
六月 一日 月次祭
六日 全国清々会総会及
び見学会に禰宜出
席(京都市及び滋
賀県)
十日 夏越の大祓に向け
茅の輪立作業その
後役員会
十七日 三枝祭に禰宜郷社
神御子美牟須比命
神社役員と共に参
列(奈良市・率川
神社)
二十三日 奈良県神社庁氏子
総代会研修旅行に
禰宜役員参加
三十日 夏越しの大祓式

七月 一日 月次祭
二日 惣社水分神社への
例大祭に向けた挨拶
十六日 石川県かほく市産
業建設部上下水道
課参拝祈禱
二十一日 摂社春日神社例祭
月次祭
一日 全国春日連合会奈
良県支部総会に禰
宜教化委員出席
十七日 古市場納涼夏まつ
り(大盆踊り)
九月 八日 月次祭
一日 全国春日連合会総
会に禰宜出席(岐
阜県)
十日 末社金刀比羅神社
秋季例祭
二十三日 例祭打合せ会議
二十四日 交野市水道局参拝
祈禱(五名)
十月 一日 月次祭
五日 奈良県神社庁神宮
大麻頒布始祭に禰
宜出席(橿原市)
十一日 宇陀支部神宮大麻
頒布始祭を当社に
於いて斎行 禰宜
斎主奉仕
十四日 郷社例祭及び祭典
準備
十五日 午前例大祭(神
輿渡御祭)



十一月
二十一日 裾野市水道部参拝祈禱
一日 月次祭
九日 奈良県神社庁教化旅行に瀬宜参加(兵庫県)
二十三日 新嘗祭
二十五日 摂社宗像神社例祭(亥の子祭り)
二十七日 山口県企業局及び周南地区工水利用者協同組合参拝祈禱(四名)

謹告

元旦一時御神水(若水)を奉献し、氏子総代参列の下に厳かに歳旦祭を執り行い、氏子一同と全国水道事業関係者の無事平穏と事業の発展と安全を祈願いたしました。

吉例の如くお祓いをした御神札は菟田野郵便局開門と同時に発送の手続をいたしました。

「うつくしい水の守り神」宇太水分神社の御神札を事業所の清らかな高いところにお祀りし、日々事業の安全と豊水をお祈りいたします。

御神札を年ごとに新しくお改めするのは、神は清浄を第一とすること、また若返えられた神の強いみ光を仰いで一層のご加護を願うという、祖先より受け継がれてきた伝統的信仰にもとづくものです。

一年間お守りいただいた古い御神札は感謝の心をこめて当社へお納め下さい。又は最寄りの神社へ納められても結構です。

おねがい

正式参拝祈禱ご希望の方は、その日時を電話等でご一報下さる様おねがいたします。神職が不在の時もあり、ご迷惑をおかけすることになります。是非ともよろしくおねがいたします。

TEL〇七四五・八四二・六三

編輯後記

昨年の例大祭は、四年ぶりに疫禍前に復せたが、核となる祭儀に関しては今までと違った様相となった。宮司の父は身体が衰えが激しく、市から要介護認定を受けているが、それでも一昨年は辛うじて祝詞奏上はできていた。しかし遂に昨年は、それも能わず瀬宜の私が替って斎主を務める事となった。本務社に於いても凡そ二年前から、次第に祈年祭や新嘗祭、摂末社の例祭等の行事は、私一人奉仕に移行していったのだが、初夏頃にその決意をし、祝詞を父から受け継ぎ、心の準備をして、いざ開扉をした本殿の御垣内で、大勢の参列者のもと畢えてみての実感、極めて重いものがある、という事になるのか。更にその想いは午後からの神輿御の儀で、倍増した。今までも磐折の姿勢で宮司が奏上する祝詞は聴いてはいたが、実際に自分が行ってみると、全く感慨が違っていた。本殿前と神輿前に於いて連続して奏上する祝詞は、神代の昔よりの祭祀の実相及びお渡りの有様を、見事に披歴して且つ地域の安寧と繁栄を祈るといふ、内容となつてゐる。その事を心に明瞭に刻み込めた時間であった。午前の本祭の後、姫神様のお迎えするべく、東郷の大宿所に役員の車で急行する。という術を採つたからこそ、双方の斎主を務める事が可能となつた。のではあるが、平成十四年腰痛を発症した宮司に替り、初めて神輿を先導して以来、昨年の大祭は私にとつて大きな経験となり、これより当社を担つていく為の糧を齎した。感謝。

◇神徳宣揚奉讃講ご加入のご案内◇

例年多数のご加入をいただき厚く御礼申し上げます。
当神社では月次祭に水道事業の安全操業と豊水を祈願いたしております。

◎年間講費 1口 2千円以上随意

ご送金は振替用紙ご利用又は銀行振込み(南都銀行 菟田野支店
店番290 普通口座031732 宇太水分神社神徳宣揚奉讃講)
にておねがいたします。